

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年2月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677100119
法人名	有限会社 ジェーケイエル
事業所名	グループホーム ねむの樹
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町有里6284番地1 (電話) 0994-62-8030
自己評価作成日	平成26年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年1月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が1日1日を穏やかに過ごせるように、理念を目標に、家族のように心の通うケアを心がけています。

ホームも敷地が広くのどかなところに建っているため、バナナや野菜などを植え、作物が育っていく過程や収穫を楽しめるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、広い敷地の中にホームのシンボルである大きなねむの木がある。旧串良航空隊の跡地の串良平和公園や陸上競技場・野球場などに近く、花見やドライブに出かけたり、地域住民と挨拶を交わしたり、会話を楽しんでいる。
- ・夏祭りや棒おどりなど地域の行事に参加し、地区公民館で開催する家族会には中学生や地域住民がボランティアで参加するなど、地域との交流が行われている。
- ・医療連携体制が整っており、看取り指針を作成し、家族と連携し看取りに取り組んでいる。
- ・運営推進会議での提案で、消防団員が加わることになり、災害対策の充実が期待されている。
- ・ホームは、防災訓練にも力を入れ、定期訓練以外にも、種々の災害場面を想定して自主訓練がされている。
- ・管理者は話しやすい環境を整えて、職員の意見や提案を積極的に反映させている。職員は、利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながら言葉かけ、よりよいケアに努めている。排泄の改善にも成果をあげ喜ばれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホーム内に理念を掲げ、理念の共有を図っている。今後もその達成に向かって利用者様のケアに励んで生きたい。	地域との関連性を重視した独自の理念がある。理念はホールに掲示し、パンフレットや重要事項説明書にも明記し、家族にも十分理解されている。職員会議で毎回確認し、事業計画会議でも、理念の振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭り、運動会などには参加しているが、行事時のみなので日常的に交流が持てるようにしていきたい。	地域の道路掃除に参加したり、散歩のとき挨拶を交わしたり、地域の夏まつりなどのイベントや行事には積極的に参加している。高校生の実習受け入れや家族会に中学生や地域ボランティアを受け入れるなど、地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	研修等を通じて認知症のケアについて事業所内で学んでいるが、地域に向けての発信がない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い報告、話し合いを行っている。今後は参加者を増やし、バリエーションに富んだ会議を行いたい。	会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価結果の報告を行い、現在取り組んでいる内容についても意見をもらっている。そこでの意見で3月度の当会議に消防団員の参加となった。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	必要時には電話連絡や直接訪問し助言・指導をお願いしている。	市担当者とは、ホームの困難事例や利用者の相談・事故防止・成年後見制度の導入等の相談を行い、情報やアドバイスももらっている。運営推進会議を通して協力関係もできている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会を行い身体拘束をすることでの弊害を理解し、身体拘束のないケアを行っている。	介護施設研修会への参加や職員会議や勉強会で身体拘束をしないケアを職員で話し合い、禁止の対象となる具体的な行為を全員が理解している。昼間は施錠せず見守りを重視している。帰宅願望の強い利用者には、職員間の連携で状況改善に努めている。精神的拘束もしないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々のケアの中で声掛けや対応が高齢者虐待につながらないように、高齢者虐待防止法等についての勉強会や会議などでケアの振り返りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について勉強会をもち、その事業や制度を活用している利用者様もいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や改定時には文書で説明し理解、了承をいただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の面会時や運営推進会議の際に意見・要望を伺うことにしている。	日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。利用者からは生活の中で意見等を聞き、家族からは、面会時や家族会で意見や要望を聞いている。家族の意見でダンスの中の確認や衣類の記名の場所を配慮するなど運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回職員会議の中で、意見や要望を聞く機会を設け反映できるようにしている。</p>	<p>朝の申し送りは合同で行い、すべての職員が情報を共有している。職員は会議や個々に管理者に意見や要望を提案し、入居に関しても、1泊体験をしてもらい、利用者の安心と職員の受け入れ態勢を整えている。個別の相談事は適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>研修参加による意識の向上や、年1回給与水準の見直しを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修参加の機会を設けているが、今後は入社間もない職員のトレーニングに力を入れていきたい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修参加の際に意見交換を行っている。今後は、相互訪問等の活動も行っていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントや体験入所を通じて、本人の困っていること、不安なこと、要望等を伺えるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントや体験入所を通じて、家族の困っていること、不安なこと、要望等を伺えるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前にアセスメントを行い、体験入所をしていただくことで、必要な支援を見極めることができるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と一緒に家事を行っており、利用者様同士もできないところを助け合って生活している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>			
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ホームに入所後、馴染みの人や場所との関係が徐々に疎遠になってきているので、協力を頂きながら関係継続の支援を行っていききたい。</p>	<p>友人やゲートボールの仲間たちの訪問の際には居室を開放して継続的關係が途切れないよう支援している。行きつけの理美容院も出張してもらい利用している。家族の協力で墓参や外食も行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士が関わり合いながら支えあって生活している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用が終了すると、ホームから本人・家族に経過を伺うことはほとんどない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	月1回ケアのケア会議や毎日の申し送り時に利用者様の希望、意向の把握を行い検討している。	利用者の表情や言動・サインなどから見過ごすことのないように注意し、思いや意向の把握に努めている。月1回のケア会議で検討し、利用者の思いに沿える支援を検討している。ケアノートに記録して職員間の情報交換を行っている。意思疎通が困難な場合は、身内の人のところに訪問して聞いたりしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、モニタリング時に把握できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の申し送りやケア会議などで現状の把握を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の希望をもとに主治医・訪問看護の指導・助言を受け、ケア会議で話し合い介護計画を作成している。	本人や家族の意見や要望を汲み取ったうえで、ケア会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施している。見直しの必要性があれば全職員で検討し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケース記録に記載した内容やケア会議での情報を元に介護計画の見直しを皆で検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ケア会議や日常の申し送り時に話し合い、その場面に応じて対応できるようにしている。		
29		○地域資源との協働 ハピコソの暮らし力を生かしている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりの地域資源の把握が不十分なので十分に活用できていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医や施設の協力医、訪問看護ステーションと連携をとりながら適切な医療を受けられるように支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期的な受診や通院も支援している。訪問看護ステーションとの連携で週1回の訪問もある。緊急時の対応などかかりつけ医と連携を取りながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	施設委託の訪問看護ステーションと連携をとりながら、適切な受診や看護が受けられるように支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中の面会や早期退院に向けて本人、家族、病院関係者、訪問看護ステーション等と随時情報交換を行い、速やかに対応できるようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	随時、本人、家族、施設の協力医や訪問看護ステーションと話し合いを行い、可能な限り本人、家族の意向のもと看取りも行っている。	医療連携体制ができており、重度化や終末期に際しては、事業所が取り得る対応について本人と家族に説明し同意を得ている。看取りについては、指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い繰り返し話し合い、意向を確認し主治医と連携している。職員はその関連の勉強会や講習会に参加している。看取りの経験がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は普通救命講習を受講できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	全職員が災害時に迅速に行動できるようになるまでは、毎月避難訓練を行うようになっているが、地域の方の参加がないので協力をお願いしていきたい。	年2回消防署の指導のもと、定期的な夜間想定訓練と毎月の自主訓練を行っている。近隣在住の事業所職員との協力体制もできている。運営推進会議での助言で消防団員の参加となり、今後アドバイスをもらいながらより充実させる方向である。スプリングクラーも設置され、災害時の備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けやケアのあり方に対し勉強会や自己の振り返りを行いながら、そのようなことが無いように心がけている。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応について勉強会を行っている。おむつ交換やトイレ誘導などは、羞恥心に十分配慮して、利用者のプライドを損なわないように支援している。排泄・更衣・入浴時の言葉かけにも誇りやプライバシーを損ねないように対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が思いや希望を表しやすい雰囲気作りや、思いに気付くことができるように日ごろよりコミュニケーションを取るよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべくその方のペースや希望を取れるように心がけているが、少し待つて頂いたりすることもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服を自分で選んでいただいたり、外出着を決めていたりお化粧をされる方もいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下ごしらえを行ったり、お盆拭きや片づけを一緒に行っている。	利用者の嗜好に配慮した献立を工夫している。医師の栄養指導も受けている。利用者の力量に合わせて、後片づけを職員と一緒にしたりしている。誕生会や行事食・外食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事量、献立表記録し、1人1人の状況をすぐ確認できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者は皆さん毎食後に口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録を時間軸で残し、排泄パターンに合わせて声かけできるようにしている。	排泄チェック表を作成し、排泄パターンに沿って工夫しながらトイレでの排泄の自立に向けて取り組んでいる。職員のこまめな声かけ誘導で、おむつを減らす取り組みと排泄の自立を支援している。改善がみられた例で本人や家族が喜んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操や、主治医と相談しながら本人の負担が無く排泄できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴の曜日や時間帯は大体決まっている。必要時は日にちをずらしたりしている。</p>	<p>入浴は基本的に一日おきであるが、本人の希望に添った入浴ができるように支援している。毎日希望や個別浴で対応している。入浴をいやがる利用者には、職員で連携し状況改善に努め、清拭なども対応している。家族と一緒に入浴に出かける場合もある。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>利用者のその日の体調等に配慮して声掛けしている。夜、足浴し暖まってから入床される方もいる。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の情報提供書で確認している。症状の変化などあるときは、主治医や訪問看護に指示を仰いでいる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節の行事や畑作りなど行っている。レクレーションや家事を利用者と一緒に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族と一緒に墓参りに行ったりされている。遠出が難しいときは散歩や畑、屋外の休憩場を利用し気分転換を図っている。	日常的に近隣の散歩を行ったり、敷地が広いので屋外で過ごすことも多い。ドライブを兼ねた買い物、校区の夏祭りなど、地域行事にも出かけている。月1回は計画を立てて花見等のドライブしたり、家族の協力で墓参にも出かけている。外出が困難な利用者も車椅子対応車を利用している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者個人で所持しているお金は少なく、殆どホームで管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人希望にそって、電話をかけている。家族や友人に手紙をかかれる利用者もいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間が少し狭いことが難点であるが、建物が木材を見せるようにできているので、落ち着いた雰囲気がある。季節のものを置いたり、外出時の写真を貼ったりしている。	共用の空間は、換気や採光に配慮され、木のぬくもりがあり、掃除も行き届いている。廊下の壁には利用者の作品や季節行事の写真等が飾られている。畳部屋もあり、ホールにはソファが数多く置いてある。いろいろな場所で全員が休憩できるようになっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	利用者皆食堂やソファで思い思いに過ごしておられる。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	家族の写真や、ホームでの写真など貼っており、居心地よく安全に過ごせるように配置等、工夫している。	利用者の身体状況や希望に応じて畳部屋や床張りの部屋があり、思い思いの部屋づくりがなされて、個性がある。利用者が使い慣れたタンスや寝具・椅子などを持ち込み、家族の写真を飾り、居心地よく過ごせるように工夫がされている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	居室やトイレなどわかりやすく表示し、利用者が安心して過ごせるように声掛けも工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない